科目名			担当教員	
精神保健福祉の原理Ⅱ			三城　大介	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CR3183	2	1	RorSR（講義）	2年以上
履修登録条件		「精神保健福祉の原理Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録する方のみが履修登録できます。		
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

精神保健福祉の原理Ⅱでは、精神障害者の疾患や障害を起因とする生活のしづらさや生活特性を理解したうえで、精神保健福祉士が支援する上での責務や倫理、支援のターゲットについて吟味を深めます。

また、精神科医療における他職種連携や地域連携にも触れ、精神保健福祉士の職責や具体的なアプローチの方法について考察を深めていきます。

■到達目標

1）精神障害者の生活のしづらさを理解し説明できる。
2）精神障害者の生活特性の状況や生活課題を理解し説明できる。
3）精神保健福祉士の職責や倫理観について解説できる。
4）精神保健福祉士が提供する支援について説明できる。
5）精神保健福祉領域における医療連携や地域連携について理解し説明できる。
6）精神保健福祉士のターゲットへ提供するアプローチについて自身の言葉で説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「精神保健福祉の原理Ⅰ」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新精神保健福祉士養成講座［専門科目］5 精神保健福祉の原理』中央法規出版、2021年

※「精神保健福祉の原理Ⅰ」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、適宜配付する資料と板書を中心にして講義を行います。

【参考図書】

R. P. リバーマン著西園昌久池淵恵美監訳・翻訳『精神障害と回復：リバーマンのリハビリテーション・マニュアル』星和書店、2011年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

このスクーリングでは、精神障害者の生活のしづらさや生活特性を自身で容易にイメージできるよう理解し、その上で、精神保健福祉士としてのターゲットの理解やアプローチ方法の詳細、精神保健福祉領域における医療と地域の連携について学びを深めて欲しいと思います。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	精神科医療と精神障害者の生活特性	生活のしづらさと生活特性の吟味
2	精神障害者のメンタルヘルスとその課題	当事者のメンタルヘルスとその環境が抱える課題
3	精神障害者の環境調整とその課題	学校や職場など生活のステージごとにみた課題について
4	精神保健福祉士の理念と価値	精神保健福祉士に必要な理念やその価値について熟考します。
5	精神保健福祉士の実践における視点	エンパワメントの視点とリカバリーの視点
6	精神保健福祉領域における援助の関係性	援助関係に上下や強弱のパワーバランスは存在しません。そのことを中心に間主観性に言及します。
7	精神保健福祉士の業務特性	精神保健福祉領域における精神保健福祉士の業務特性を、そのターゲットとする環境との関係から考察します。
8	精神保健福祉士のフィールド	精神保健福祉士のフィールドは多岐に及んでいます。それぞれのフィールドでの特性について考察を深めます。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

適宜資料を配付し、板書を中心に講義を進めます。
補助的にテキストも使用します。

■スクーリング評価基準

精神保健福祉士の援助の視点についての理解を求めます（持ち込み不可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

1）精神障害者の症状の固着や陰性・陽性症状について調べる。
2）向精神薬の副作用についてまとめる。
3）精神障害者の生活のしづらさについて自分なりに考察を深めてみる。
4）テキスト第 4 章第 2 節を読み、保護者制度の歴史について理解する。
5）テキストやインターネットの情報を手掛かりに、精神保健福祉士のフィールドについて調べる。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

1）精神障害者の生活特性の理解を確認する。
2）精神障害者の生活ステージごとの課題について確認する。

3）精神保健福祉士のフィールドとそこで求められるスキルや倫理観について確認する。

4）スクーリング全体の振り返りを行い、自身の知識を確認する。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	精神科医療による生活の影響（4章）	精神保健福祉先進諸国と比較しながら、平均在院日数が格段に長い我が国の精神科医療が当事者の生活へどういった影響を及ぼしてきたか考察する。	平均在院日数の違いが地域移行にどういった影響を与えるのか考察するとともに、地域移行、地域定着に必要な因子を分析する。
2	精神障害者とその家族の状況（4章）	精神保健福祉施策が他の障害者施策に送れていることが、当事者とその家族の生活に影響を及ぼしてきたか理解する。	社会的障壁の状況や就学・就職、制度利用等の観点から、当事者とその家族の関係性や社会的孤立の状況を探る。
3	精神障害者の生活の実際（4 章）	医療・教育・就労等を踏まえた精神障害者の生活実態を理解する。	それぞれの因子ごとに整理して把握する。
4	学校や職場でのメンタルヘルスの課題（4 章）	現代社会におけるメンタルヘルスの課題、特に学校や職場でのメンタルヘルスの課題について考察を深める。	いじめや不登校、校内暴力、引きこもりといった教育現場でのメンタルヘルスの課題や、過重労働による過労死や職場内でのメンタルヘルスの課題、それに応対するための制度について学びを深める。
5	アディクションとメンタルヘルス（4 章）	アルコールや薬物、ギャンブルなどのアディクションとメンタルヘルスの連関性を学ぶ。	アルコールや薬物などの嗜癖構造を学び、依存症当事者のメンタルヘルスの連関、家族や社会への影響について知る。
6	精神保健福祉に関する原理（５章）	精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの史的展開から、精神保健の原理が培われた足跡・過程を知る。	精神医学ソーシャルワーカーについて、Y 問題などの出来事や、精神保健福祉領域の制度的変遷から学ぶ。
7	精神保健福祉士による実践の原理や価値 1（5章）	当事者の社会的復権と権利擁護、自己決定に関する支援について。	精神障害者への社会的評価と復権、権利擁護、そして自己決定を促すための支援について、精神保健福祉士に必要な視点について考察する。
8	精神保健福祉士による実践の原理や価値２（５章）	当事者主体のための実践方法や、当事者がごく当たり前の生活を送るために必要な実践方法の考察。	精神保健福祉領域における当事者主体の支援を精神保健福祉士の視点から考察する。加えて、当たり前の生活を送るための支援について考察する。
9	精神保健福祉士による実践の視点（５章）	人と環境の相互作用としてのエンパワメントやリカバリーの視点やスティグマの軽減について考える。	人と環境の相互作用の中で当事者が生きづらさを蓄積しないよう、精神保健福祉士の実践の視点として、エンパワメントを高める支援やリカバリーのための視点、スティグマの軽減の方法について考察を深める。
10	援助のおける関係性（５章）	援助における関係性の整理。 援助者と被援助者、援助者間や当事者間の関係性、加害者と被害者の関係性の整理。	当事者や援助者の関係性は、その対象との組み合わせによって大きく異なる。例えば DV の加害者は被害者なのか？そういった関係性の考察を深める。

11	精神保健福祉士法の理解（6章）	精神保健福祉士法の成立とその目的、社会福祉士介護福祉士法との連関性について考える。	社会福祉士介護福祉士法成立後１０年で精神保健福祉士法が成立した。その成立の意義や背景について学び、考察を深める。
12	精神保健福祉士の職業倫理（6章）	精神保健福祉士にとっての倫理綱領と倫理的ジレンマ、専門職団体の意義について考える。	精神保健福祉士にとっての倫理綱領により、精神保健福祉士自身が倫理的ジレンマを抱えることがある。その事を中心に考察する。
13	精神保健福祉士の業務特性とフィールド（6章）	精神保健福祉士のフィールドと業務特性について考察する。	精神保健福祉士のフィールドは精神科医療機関や福祉サービス事業所にとどまらず、多岐に及んでいる。それぞれのフィールドでの臨床実践の意義や課題について考察する。
14	精神保健福祉士の業務内容と特性（6章）	精神保健福祉士の業務特性や内容。	多岐に及び精神保健福祉士のフィールドにおける精神保健福祉士の業務特性や業務内容について理解する。
15	これまでのまとめと振り返り	4 章から 6 章までの内容を振り返り、理解を深める。	精神保健福祉の原理Ⅰ及びⅡを俯瞰的にとらえ、整理する。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	精神障害者やその家族のおかれている状況を理解したうえで、精神保健福祉士が提供する援助の実践方法に必要な視点について具体的に述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

精神障害がある方やその家族の方の生活実態の状況を理解することが大切です。
その上で、精神保健福祉士が実践する支援における様々な援助の視点を整理し、考察を深めてください。
また、考察する際には、精神保健福祉士法の解釈もその根底においてください。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

先ず、精神障害者の生活の実態に影響を及ぼすと予測される因子としての、精神科医療や家族の存在、生活の原資を得るための職業等について考察を深めてください。
その上で、精神保健福祉士が実践するアプローチの詳細をそこに当てはめて考察してください。

科目修了試験

■評価基準

基本的にはルーブリック評価に示されているレポート評価の基準に準じます。
それと同じ割合で、どの程度独自の視点で考察を進め論述したのかという基準も加え全体で評価します。